

奈良県指定文化財調査票

調査日	2020 年	6 月	6 日	記入者	亀田幸英
調査者名	亀田	鈴木			

文化財名	前鬼のトチノキ巨樹群				
種類	<input type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input checked="" type="checkbox"/> 天然記念物	<input type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ()
指定年月日	2001年(平成13)年3月30日				
所在地	吉野郡下北山村前鬼199-1				
所有者 管理者	個人				
員数					
時代区分					
樹木の場合	(樹木名) トチノキ			(樹齢) 不明(数百年経過もある)	
案内板の状況	案内板が設置されていないので是非とも設置を要望する。				
公開	常に公開されている。				
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> 良い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い
	補足 ()				
当面の課題	所有者の五鬼助氏にお話を伺ったが、説明板等の設置は無いとのこと。登山道としてはテープは木々に巻いてあるが、悪天候時には迷いやすい。真昼時でも鬱蒼とした森につき、道標は一か所あるが、さらなる道標設置とトチノキの説明板が欲しい。				
今後の課題	トチノキの性質として、湿った環境を好むので、この森を万全に保存する必要がある。トチノキの巨樹の間に、杉の巨樹も生育しているのが見受けられるが問題は無いのだろうか。				
その他 (由緒など)	前鬼と後鬼の子供たち5人が住んでいたと言われ、今は修験道の行者や山を愛する人々の宿坊である小仲坊(おなかぼう)。ここから太古の辻方面へ約20分ほど登った所に、トチの巨樹群があります。中には幹回り10mを超す樹齢数百年の「霊木」もあります。トチの実には古来よりトチ餅の材料として重宝され、今もなお下北山村の伝統食として受け継がれています。<文化庁「日本遺産」ホームページより>				
コメント	これだけのトチノキの巨樹群が現存していることに、感動すら覚える。この森を通過する人は修験者が釈迦ヶ岳への登山者ぐらいたが、数少ない通過者にもよくわかるように説明板の設置を切望する。我々は、この巨樹群を未来永劫にわたり保存していく義務があると思う。				

奈良県指定文化財調査票(写真)

調査日	2020 年	6 月	6 日	記入者	亀田幸英
調査者名	亀田	鈴木			

文化財名	前鬼のトチノキ巨樹群
------	------------

トチノキ巨樹群	大峯縦走線歩道の道標が立っている
---------	------------------



巨樹の下部の幹

巨樹の上部の幹(高さは30m以上になる)



霊木のような巨樹(幹回りは5m以上)

トチの実と名産の「とちもち」

